

環境と 人の 新しい つながり

小堀哲夫 Tetsuo KOBORI

1971 岐阜県生まれ

1997 法政大学大学院工学研究科建設工学専攻修士課程修了

1997 久米設計入所

2008 小堀哲夫建築設計事務所設立

ROKIグローバルイノベーションセンターでJIA日本建築大賞、
日本建築学会賞(作品)、ほか受賞歴多数

JIA建築セミナー2021

建築は、環境と人をつなぐものです。環境とは自然環境だけでなく、組織、地域社会、地球規模に至るまで、人間を取り巻くあらゆるものを含みます。悠久の時の中で、人間は土地と深くつながり、建築と都市がつくり上げ、歴史や風土、社会との関係性を築いてきました。

しかし今、新型コロナウイルスを前に人々の生活やこれまでの習慣、社会常識は大きく揺れ動いています。近現代は、効率と経済性を追求めて都市化が進みましたが、コロナ禍で場所への帰属意識は薄くなり、フィジカルなつながりは希薄になりつつあります。その一方で、ITネットワークの発達は世界の距離を縮め、人は“デジタル”という新たなスペースを獲得しました。

このような不透明で不確定要素の多い時代で、新たな関係性を構築するために必要なこととは何でしょうか。それは、意思を持って場を選ぶことであり、信頼の上に成り立つ“つながり”です。これまでのような会社と家の一方向ではなく、あらゆる方向につながるには自主的な行動力が求められます。自主性とは“遊び”の精神によって生まれるものなのです。

我々建築家は創造性を持って、“新しいつながり”を建築として表現していくことが求められています。それには自然、都市、建築、歴史、社会などありとあらゆる視点に立ち、鷹の目と蟻の目の両方を持つこと、自らが異邦人となって常に動き、視点を変えていくことが必要なのです。

今年度の建築セミナーは、過去と現在と未来を通して、「環境と人の新しいつながり」を考えていきたいと思います。一年を通して他者との対話や視点の変化は、既存の共同体を俯瞰する視点の獲得であり、魅力的な環境をつくる最良の方法となるはずです。

実行委員長

小堀哲夫 [小堀哲夫建築設計事務所、法政大学教授]

実行委員

白砂孝洋 [白砂建築設計事務所]

菅原大輔 [SUGAWARADAISUKE 建築事務所]

勝矢武之 [日建設計]

川島範久 [川島範久建築設計事務所、明治大学専任講師]

谷口景一郎 [スタジオノラ、東京大学特任助教]

馬場兼伸 [B2Aarchitects]

前田道雄 [アーキプロ]

松尾敬一 [久米設計]

間部賢太郎 [三菱地所設計]

JIA 建築セミナー趣意書

人の生きる環境の形を決める建築家は、常にその社会的責任に対する意識を新たにし、技量の継続的向上に努めなければなりません。建築家とは、「なる」ものではなく、むしろ「なり続ける」努力によって成立する職能なのです。

私たち、日本建築家協会の使命の一つは、会員相互の交流と切磋琢磨をつうじて、こうした自己研鑽の機会を広げることにあります。そうした機会は、会員にはもちろんのこと、未だ会員になっていない若い方々に対しても開かれなければなりません。

現在の日本の建築教育はほとんど大学に任されており、また、その期間が限られているため、建築家としての意識と見識を養うためには、甚だ不十分な域にとどまっています。そ

して、そこに学んだ若者が卒業して一旦社会に出ると、自己研鑽を積み続ける機会に恵まれないのが通例です。

そうした状況に鑑み、私たちは会員及び会を支援して下さる各界の知的リーダーたちの蓄積を、建築家への道を歩み始めた若い方々に受け渡し、建築家に「なり続ける」機会の一つを提供するために「JIA 建築セミナー」を開設しました。

このセミナーは、1978年以来の歴史を誇っております。44年目にあたる2021年度も、長年の間に培われた良き伝統を受け継ぎつつも、時代の状況に応じた新風を織り込んでセミナーが開催されますので、一層のご理解とご鞭撻をお願いいたします。

JIA建築セミナー2021 | スケジュール | 2021年11月 - 2022年3月末日

2021年度はコロナ禍のため、オンライン講座が中心になりますが、環境を考慮して会場での講義も行う予定です。また、状況が許せば、見学会も実施いたします。講座の順番は講師の都合等で前後する場合があります。開催の日時は、1か月前には告知いたします。なお、**09**以降は、2020年度に開催を予定していた講座ですが、コロナ禍によって延期になっています。2021年度で再度取り上げます。また、「環境×IT」のこれから」は2022年度に開催予定です。延期された講座は2020年度の受講生も参加可能ですので、開催時はご連絡いたします。

01 今、建築家の役割——イノベーションから共創へ

講師：小堀哲夫 [建築家、法政大学教授]

複数の企業のイノベーションセンターを設計後、本年度は奈良県に大和ハウスグループの「みらい価値共創センター」が竣工した。建築家に求められたものは何か。その設計の目標とプロセスを伺います。

02 見学 | 大和ハウスグループ「みらい価値共創センター」

(2021年、小堀哲夫 / 基本計画・全体監修、大和ハウス工業・フジタ / 設計施工)

03 グレートジャーニーから地球永住計画について

11月18日[木]19:00- | 豊洲ビックセンター5階ホール

講師：関野吉晴 [探検家、医師、前武蔵野美術大学教授]

対談：小堀哲夫

小堀氏の推薦講座。関野氏は1949年生まれ。一橋大学法学部、横浜市立大学医学部卒。一橋大学在学中に探検部を創設し、アマゾン全流を下る。医師として勤務する傍ら、中南米への旅を重ね、1993年には人類がアフリカから南大陸に拡散した道のりを逆ルートで辿る「グレートジャーニー」をスタート。2002年にタンザニアのラエトリにゴール。1999年、植村直己冒険賞受賞。著書には『関野吉晴対談集 グレートジャーニー1998-2007』(2007.6.21.発行、東海大学出版会)、『海のグレートジャーニーと若者たち』(2013.3.30.発行、武蔵野美術大学出版局)、『グレートジャーニー探検記』(2013.3.31.発行、徳間書店)等がある。

関野氏が冒険について語り、小堀氏が憧れの関野氏に地球環境について尋ねます。

04 05 これからの建築と建築家教育

1回目は講義、2回目は参加者からの質問に答えて頂きます。

講師：横山禎徳 [社会システムデザイナー、元マッキンゼー&カンパニー東京支社長]

横山氏は、東京大学建築学科卒業後、前川國男建築事務所に入所。その後、ハーバード大学デザイン大学院、マサチューセッツ工科大学経営大学院終了後、マッキンゼー日本に入社し東京支社長等を歴任。8年前に東京大学EMP(エグゼクティブ・マネジメント・プログラム)を立案し、東大で教鞭をとる教官を中心にノーベル賞候補にもなるような各分野のトップランナーが、企業の管理職、中小企業経営者、官僚など将来の日本を担う40代に向けて講義する講座を創設した。

コロナ禍によって大きく変わろうとする日本社会にあって、横山氏のこれまでの経験から、これからの建築と建築家の教育についてのご意見を伺います。

06 気づけ日本建築の黄昏時代

講師：五十嵐太郎 [建築批評家、東北大学教授]

朝日新聞(2021年7月23日)「国立競技場 黄昏の時代の象徴」に、2度目の東京五輪、2度目の大阪万博に期待する日本を衰退の始まりであると位置付け、建築もまた黄昏時代を迎えるだろうと五十嵐氏は答えています。その詳細を語って頂きます。

JIA建築セミナー2021 | 募集案内 | 2021年11月 - 2022年3月末日(CPD申請予定)

定員 40名

受講資格 当セミナーに興味のある方、若手設計者ほか

講習期間 2021年11月 - 2022年3月末日

見学会等の集合場所・時間ほかは、追ってお知らせします。

会場 JIA館ほか、オンライン利用

住所：東京都渋谷区神宮前2-3-18 | **TEL**：03-3408-8291

交通：地下鉄銀座線外苑前駅 徒歩8分/JR千駄ヶ谷駅 徒歩10分

JR原宿駅 徒歩12分

受講料 一括払い：140,000円(分納、ご相談承ります)

見学・宿泊等の交通費、食費等は実費となります。

07 バウハウスとは何か、

そして、今、EUが提唱するニューバウハウスの役割

講師：日本バウハウス協会

1919年にドイツのヴァイマルに設立されたバウハウス(Bauhaus)はナチスの台頭によって1925年には Dessau に移転し、1933年には閉校させられた。教授陣には、時代を代表するパウル・クレー、ヴァシリー・カンデンスキーら芸術家がいり、校長には建築家のヴァルター・グロピウス、ミース・ファン・デル・ローエらが歴任した。バウハウスはわずか13年間の活動であったが、芸術を通して社会を変えようとする運動であった。その影響はヨーロッパやアメリカに波及していることは周知のとおりである。

今、欧州委員会(European Commission、略称：EC、EUの政策執行機関)は、New European Bauhaus(新ヨーロッパのバウハウス)と称して、ヨーロッパの人々の幸福と健康の向上を目的とした気候対策、グリーンディールを生活空間に結びつけ、美しい環境造りを目指す」と宣言した。

バウハウスとは何かを問い、EUの目指すニューバウハウスの動きを紹介して頂きます。

08 アムステルダムが推進するサステナブル建築の今(依頼中)

講師：吉田和充 [ニューロマジック アムステルダム]

吉田氏は、慶応義塾大学卒業後、博報堂に入社。CMプランナー/ディレクターとして活躍後、2016年、子どものクリエイティブな教育環境を重視してオランダへ移住。2017年、Neuromagic Amsterdam BV CEOに就任。広報広告全般からマーケティング、企業の成長戦略策定、ブランディング、新規事業立ち上げ、新商品開発、Web制作、サービスデザイン、海外進出などクリエイティブ業務全般を担当する。近年では「子供が世界一幸せな国」「世界ワークシェアが進んでいる国」「ヨーロッパ内で安全な都市」「ヨーロッパで一番スタートアップエコシステムが発達している都市」といわれるオランダ、アムステルダムの「今」をご紹介します、日本への提言を頂きます。

09 延築、弘前れんが倉庫美術館(2020年、田根剛設計)

講師：田根剛 [建築家、ATELIER TSUYOSHI TANE ARCHITECTS]

田根氏は、在仏。日本に帰国の場合のみ、会場にて講義されます。

10 地域で近現代建築が残され、使われる理由

講師：前川建築を守る会

青森県弘前市内には、明治大正昭和時代の洋風建築群が残っています。同様に前川國男設計による戦前(1932年)の木村研究所から晩年(1983年)の弘前市斎場までの9つもの建築群が残り、現在も使われています。地元建築家集団による「前川建築を守る会」の案内によって前川建築群を見学し、なぜ残り、今も使い続けられるのかの理由を探ります。弘前れんが倉庫美術館も見学し、地域の魅力を探ります。

11 見学 | 弘前市内の前川建築群と弘前れんが倉庫美術館

申込方法 受講希望者は氏名・住所・連絡先(TEL/FAX/E-mail)を明記し、事務局までFAXか、郵送にてお申込下さい。追って、ご連絡いたします。

なお、都合により変更になる講座もありますので、予めご承知置き下さい。

主催 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部

企画運営 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA 建築セミナー実行委員会 | JIA 建築セミナー事務局(担当：佐藤由巳子)

申込・問合せ先 公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部 JIA 建築セミナー事務局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA 館4階

TEL：03-3408-8291 | **FAX**：03-3408-8294